
レイプ仮面

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
レイプ仮面

【Nコード】
N0455I

【作者名】
悲劇のM

【あらすじ】
別サイト（マジメ系）で投稿したところ、作者は殺されました

オープニング…レイプ仮面のテーマ

ドウドウン ドウドウン ドウドウン
ドウドウン ドウドウン ドウドウン

遠くで女性の悲鳴がすれば バイクに跨りやってくる

正義のヒーロー その名はレイプ仮面

悪い怪人 残らずレイプ 助けた女 迷わずレイプ

迸る 精液^{エコー} ヌルヌルの カウパー（エコー）

悪への制裁レイプ真拳 快楽の谷へ突き落とせ

／ レイプ レイプ レイプ レイプ レイプ

サ 僕らのレイプ仮面

ビ レイプ レイプ レイプ レイプ レイプ

＼ みんなのレイプ仮面

仮面に光る レイプの心

僕らの味方 レイプ仮面

レイプ！！



「キャー！！！！」

女性の悲鳴。レイプ仮面の仮の姿、宮崎勉は、車庫から自転車を引っ張り出し、それに跨った。向かうは悲鳴のした場所。

犬を轢き、通行人を跳ね飛ばし、着いた場所は町から少し外れた廃材置き場。そこには、悪人がレイプの真っ最中だった。勉が声高

に叫ぶ。

「やめるんだ！ その女を放せ！」

「むむっ、出たなレイプ仮面！ お前達、レイプ仮面を倒すんだ」

「ヒヒイーツ！」

十数人の黒ずくめの戦闘員が出てくる。勉は伝説の秘法、レイプの面を顔に被った。

「変身！ レイプ仮面！！」

叫びと共に、勉の体を光が包む。光が収まると、そこにはレイプ仮面の姿があった！

「いくぞ！」

同時に、戦闘員がレイプ仮面に襲い掛かった。彼らの攻撃をかわし、レイプ仮面は下半身を露出させた。ズル剥けの性器に、真っ黒な陰毛が露わになる。

「レイプ真拳奥義【フォレスト・ザ・インモウ】」

すると、地面から大量の陰毛が生えだした。あっという間に真っ黒になる砂利道。その陰毛達は一本一本に自我があるように、戦闘員達の足に絡みついた。

「俺の力を見せてやる」

自らの性器を掴み、激しく上下に動かす。すると、レイプ仮面の性器から大量のカウパー液が溢れ出し、それは数メートルにも達する津波の形になった。

「レイプ真拳奥義【カウパーウェーブ】」

「ヒヒイーツ！」

カウパーウェーブは戦闘員達を一度に飲み込み、後には恍惚の表情を浮かべて果てている戦闘員達の姿があった。

「やるなレイプ仮面よ、私達の部下を一度に葬り去るとは。今度は私が相手だ！」

麻紐で縛った女を傍らに寝かせ、怪人は自らのズボンを脱ぎ去り、立派な性器をレイプ仮面に見せつけた。大きな赤い亀頭は、レイプ仮面のものにも引けを取らない。

「立派なものを持っているな。だが俺は悪に負けたりはしない!」
「ほざけ! これでもくらえ!」

怪人が投げたそれは、レイプ仮面の足元に着地した。

「うおお! こ、これは!!!」

それはレイプ仮面が毎週買っているエロ週刊誌、「コミックモン
モン」の最新刊だった。レイプ仮面行きつけのコンビニは雑誌の入
荷が遅く、まだ読んでいなかった。

「隙ありだ!」

雑誌に夢中になっているレイプ仮面に近付いた怪人は、露出した
レイプ仮面の性器を握った。

「ぐはっ! やられた!」

「フハハハハ、甘かったなレイプ仮面!」

目にもとまらぬ速さで、握った手を上下させる。強引に皮をかぶ
せ、皮オナを繰り出した。

「き、貴様! 俺の弱点が皮オナだということを知っていたのか!」
「バカめ、敵の情報収集を怠るとでも思ったか!」

言いながら、手の動きを休めない。レイプ仮面の射精感は、すぐ
そこまで迫っていた。敵によって射精させられたら、レイプ仮面は
力が抜けてしまうのだ。なんとしてでも阻止しなければならぬ。

「うわあああ! このままではイッてしまう!」

「イけ! 私の手の中でイクがよい!」

「ふぬぬぬぬ!」

全神経を性器に集中させる。だが、もうやばい――。レイプ仮面
は表情を歪めた。

「さあ、これでフィニッシュだ」

怪人は手の刺激に加え、口を使ってフェラチオを始めた。今度こ
そ絶体絶命。そう思った矢先、レイプ仮面はある奇策を案じた。

「な、なんだ、これは!」

怪人が呻き、性器から離れた。直後、激しく咳き込み出した。

「レイプ真拳超奥義【乳梅毒】」

「な、なにいつ！」

説明しよう、乳梅毒というのはレイプ仮面の必殺技の一つで、性器から神経毒を含んだ毒液を発射する大技である。本来は広範囲に渡って微弱な毒を振り撒く技だが、今のようにならうにフェラチオをしている敵に対して使うと、その毒を一点に集中して放つことが出来るため、絶大な効果が発揮されるのだ。

乳梅毒を食らった怪人は意識を失い、その場に倒れこんだ。レイプ仮面は彼をレイプした。

「お嬢さん、大丈夫でしょうか？」

女性を縛るロープを切り、揺り起こす。女性は意識を取り戻した。

「ありがとう、レイプ仮面」

「いえ、私は正義のヒーローですから」

そしてレイプ仮面は女性をレイプした。

了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0455i/>

レイプ仮面

2010年10月11日17時35分発行